

brother

MFC-4550J

取扱説明書

セットアップ編

ご使用の前にこの取扱説明書(セットアップ編)と別冊の取扱説明書(操作編)をよくお読みになり、製品を正しくお使いください。

本書をなくさないように注意し、いつでも手に取って見るようにしてください。

☎ 0120-143410

この商品の取り扱い・操作についてご不明な点がございましたら、上記フリーダイヤルにお気軽にお申し付けください。

受付時間 午前10:00～11:45

午後1:00～5:00

営業日 月曜日から金曜日

(土曜日・日曜日・祝日および当社休日は休みとさせていただきます)

安全にお使いいただくために必ずお守りください

このたびはMFC-4550Jをお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



お願い

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止をまねく内容を示しています。

メモ

この表示は、本製品を取り扱う上で知っておくと便利な内容を示しています。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、フリーダイヤル0120-143410へお申し付けください。

本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、受信文書の全部または一部が消失したり、通話や録音などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

このファクスの設置に伴う回線工事には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。

取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店へ申し出ていただければ購入できます。

使用上のご注意とお願い

このファクシミリをいつも快適な状態で安全にお使いいただけるよう、次の点にご注意ください。

「警告・注意事項」をよくお読みいただき、お守りください。

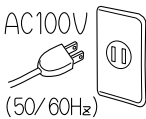
電源について

火災や感電、やけどの原因となります。

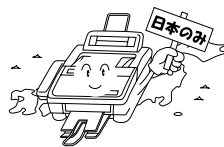


警告

電源はAC100V、50Hzまたは60Hzでご使用ください。



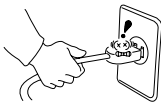
国内のみでご使用ください。海外ではご使用になれません。



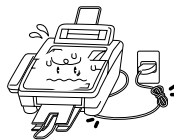
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。



電源プラグを抜くときは、コードを引っばらずにプラグを持って抜いてください。



電源コードの上に重い物をのせたり、引っばったり、たばねたりしないでください。



タコ足配線はしないでください。

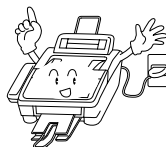


注意

雷がげしいときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ラインコードを本機から抜いてください。

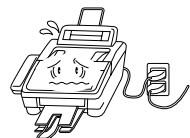


電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。



お願い

電源コンセントの共用にはご注意ください。複写機などと同じ電源はさけてください。



このような場所に置かないで

以下の場所には設置しないでください。故障や変形、火災の原因となります。

⚠ 警告

湿度の高い場所
ふる場や加湿器のそばなど



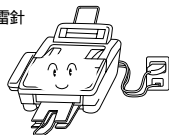
アース線を取り付けてください。
万一漏電した場合の感電防止や外部から電圧（雷など）がかかったときファクシミリを守るため、アース線を取り付けてください。取り付けかたについては、7ページの「ファクシミリを接続する」を参照してください。

取り付けられるところ

- ・電源コンセントのアース端子
- ・銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
- ・設置工事（第3種）が行われている設置端子

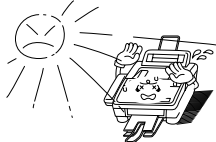
絶対に取り付けていけないところ

- ・ガス管
- ・電話専用アース線
- ・避雷針



⚠ 注意

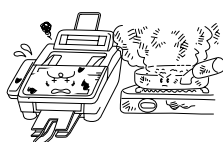
湿度の高い場所
直射日光の当たるところ、
暖房設備のそばなど



不安定な場所
ぐらついた台の上や傾いた
ところなど



油飛びや湯気の当たる場所
調理台のそばなど

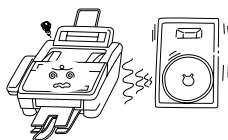


お願い

いちじしく低温な場所
製氷倉庫など



磁気が発生する場所
テレビ、ラジオ、スピーカ、
こたつなど

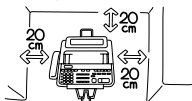


高温、多湿、低温の場所
本機をお使いいただける
環境の範囲は次のとおり
です。

温度：10～32.5

湿度：35～80%

壁のそば
このファクシミリを正しく
使用し性能を維持するため
に設置スペースを確保して
ください。



傾いたところ
水平な机、台の上に設置し
てください。傾いたところ
に置くと正常に動作しない
場合があります。

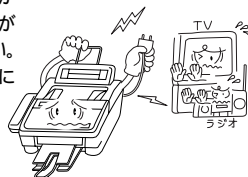


- ・急激に温度が変化する場合
- ・風が直接あたる場所（クーラー、換気口など）
- ・ホコリ、鉄粉や振動の多い場所
- ・換気の悪い場所
- ・揮発性可燃物やカーテンに近い場所

電波障害時の対処

近くに置いたラジオへ雑音が入ったりテレビ画面にチラツキやゆがみが発生したり、コードレス電話の子機で通話できなくなる場合があります。電源プラグをコンセントからいったん抜いてください。電源プラグを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。

- ・ファクシミリをテレビから遠ざける。
- ・ファクシミリまたはテレビ等の向きを変える。
- ・ファクシミリをコードレス電話の親機から遠ざける。



もしもこんなときには

そのまま使用すると火災、感電の原因となります。必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 警告

煙が出たり、へんなにおいがしたとき
すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、
販売店にご相談ください。
お客様による修理は危険ですから絶対にお
止めください。



ファクシミリを落としたり、キャビネット
を破損したとき
電源プラグをコンセントから抜いて、販売
店にご相談ください。



内部に水が入ったとき
電源プラグをコンセントから抜いて、販売
店にご相談ください。



内部に異物が入ったとき
電源プラグをコンセントから抜いて、販売
店にご相談ください。



その他のご注意

故障や火災、感電の原因となります。

⚠ 警告

分解しないでください。
法律で罰せられることが
あります。



改造しないでください。
修理などは販売店にご相談
ください。法律で罰せられる
ことがあります。



このファクシミリの上に水、
薬品などを置かないでくだ
さい。



⚠ 注意

長期不在するときは電源ブラ
グをコンセントから抜いてく
ださい。



火気を近づけないでください。
故障や火災・感電の原因とな
ります。



お願い

落下、衝撃を与えないでく
ださい。

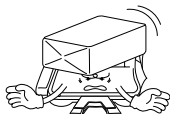


動作中に電源プラグを抜い
たり、開閉部を開けたりし
ないでください。



梱包されている部品は必ず
取り付けてください。

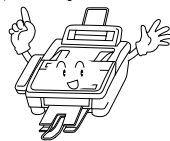
このファクシミリの上に重
い物を置かないでください。



室内温度を急激に変えない
でください。
装置内部が結露するおそれ
があります。



指定以外の部品は使用しな
いでください。



原稿および記録紙排出の妨
げになりますので、本体前
方には物を置かないでくだ
さい。



海外通信をご利用になるとき
回線の状況により正常な通信
ができない場合があります。



NTTの支店・営業所から遠距
離の場合には、お使いになれ
ないことがありますので、最
寄りのNTTの支店、営業所へ
ご相談ください。(116番)



ファクシミリ本体に貼られているラベル類ははがさな
でください。

停電がおきたときは

お願い

停電時の消去データについて

消去されないデータ

- ・ワンタッチダイヤル
- ・短縮ダイヤル
- ・グループダイヤル
- ・各種登録・設定の内容

消去されるデータ

- ・数時間以上たつと消去される
- ・通信管理レポート
- ・受信メモリ文書
- ・録音されたメッセージ
- ・停電後すぐ消去される
- ・送信メモリ文書

停電復旧時について

約1時間以上停電が続いた場合は、日付がリセットされます。

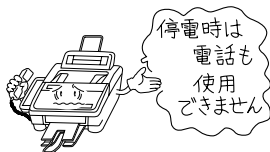
「'99 01/01 00:00」

再設定をしてください。
(15ページ参照)

メモ

停電中は電話をかけることができません。

外付電話機は機器によって使用できます(外付電話機の
取扱説明書をご覧ください)。コピーもファクシミリも
使用できません。



記録紙について

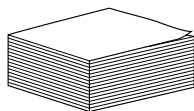
お願い

使用する記録紙にはご注意ください。

しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の
裏などは使用しないでください。



保管は直射日光、高温、高湿
を避けてください。

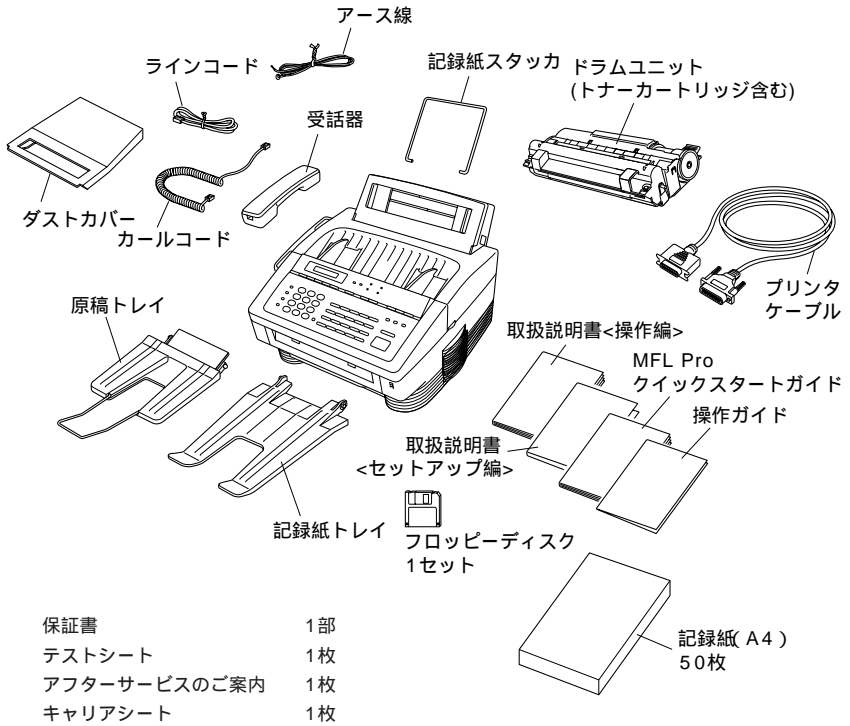


目次

1章 ご使用の前の組立と接続	1
ドラムユニット(トナーカートリッジ含む)を取り付ける	2
記録紙をセットする	4
使用可能な用紙	6
セットできる用紙枚数	6
ファクシミリを接続する	7
外付電話機の接続をする	9
コンピュータと接続する	10
2章 ご使用の前の設定と登録	11
お使いの電話回線に合わせる [回線種別設定]	12
日付と時計を合わせる [時計セット]	15
名前と電話番号を登録する [発信元登録]	17
ブザー音量を変える [ブザー音量]	20
ワンタッチダイヤルを登録する [ワンタッチダイヤル]	21
短縮ダイヤルを登録する [短縮ダイヤル]	27
グループダイヤルを登録する [グループダイヤル]	32
呼出音量の大きさを調整する	37
マルチファンクションリンクのインストール	38
テストプリントをする	41
索引	42

商品を確認する

次の物がそろっているか確かめてください。セットに足りない物があったり、取扱説明書<セットアップ編、操作編>に落丁があったときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。



お願い

この製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、フリーダイヤル0120-143410までご連絡ください。

お客様または第三者がこの製品化の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

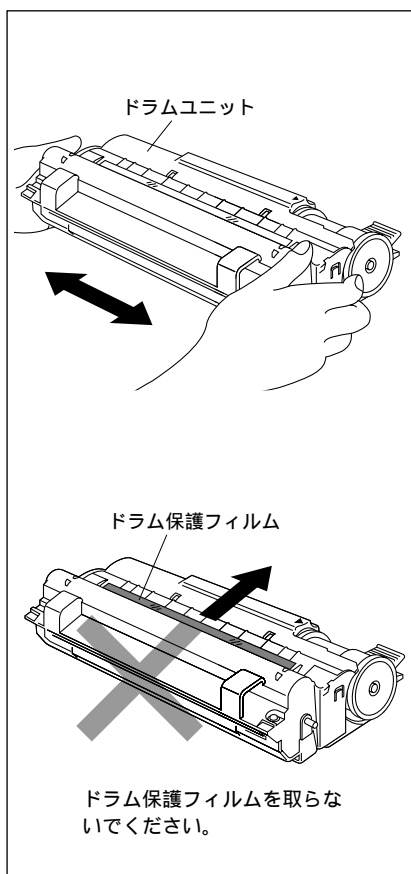
この製品は使用誤りや静電気・電氣的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときは記憶内容の変化・消失する場合があります。

1 章

ご使用の前の組立と接続

ドラムユニット(トナーカートリッジ含む)を取り付ける	...2
記録紙をセットする4
使用可能な用紙6
セットできる用紙枚数6
ファクシミリを接続する7
外付電話機の接続をする9
コンピュータと接続する10

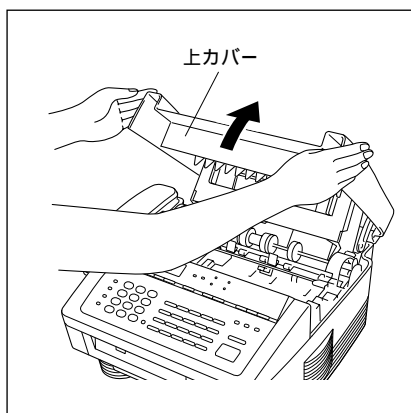
ドラムユニット(トナーカートリッジ含む)を取り付ける



1 ドラムユニットを遮光袋から取り出します。ドラムユニットを水平に持ち、5～6回左右に振ってください。

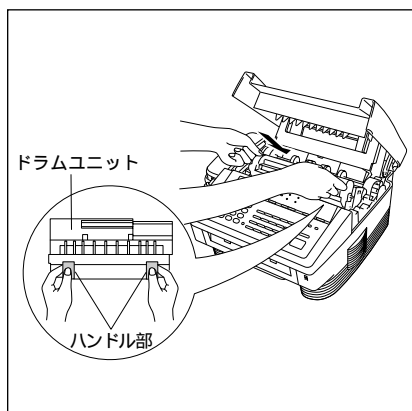
お願い

直射日光のあたるところに、ドラムユニットを放置しないでください。ドラム保護フィルムを取らないでください。この用紙はドラムユニットを取り付けた後、電源コードのプラグを電源コンセントに差し込むと自動的に排出されます。

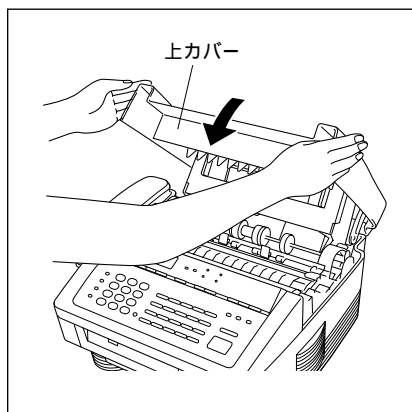


2 上カバーを開けます。しっかり固定するところまで持ち上げます。

ドラムユニット(トナーカートリッジ含む)を取り付けるつづき

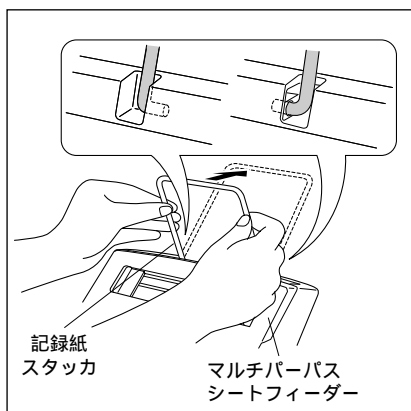


3 ドラムユニットのハンドル部を持ち、本体に取り付けます。

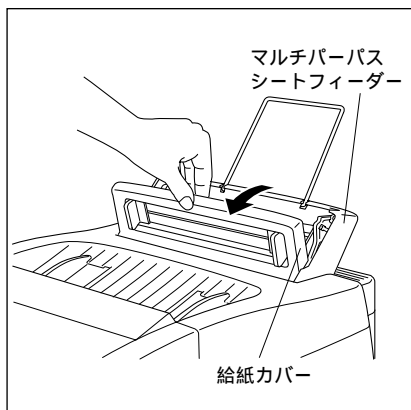


4 上カバーを閉じます。
(トナーカートリッジの交換については、取扱説明書<操作編>の194ページ参照してください)

記録紙をセットする



- 1 マルチパーパスシートフィーダーに記録紙スタッカを図のように取り付けます。



- 2 マルチパーパスシートフィーダーの給紙カバーを開きます。

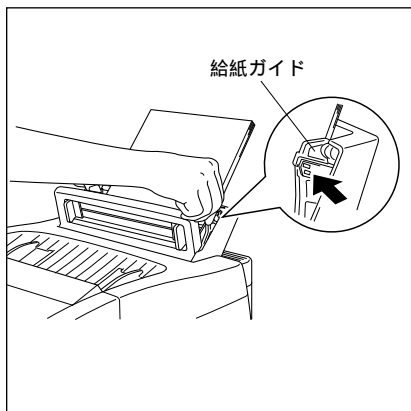


- 3 記録紙の端をきれいに揃えてから、図のように、記録紙をセットします。

メモ

マルチパーパスシートフィーダーには、普通紙が約200枚まで、封筒は10枚までセットすることができます。それ以上の記録紙や封筒をセットすると、記録紙づまりの原因となります。マルチパーパスシートフィーダー側面にある給紙ガイドマーク()を超えないようにしてください。

記録紙をセットするつぎ



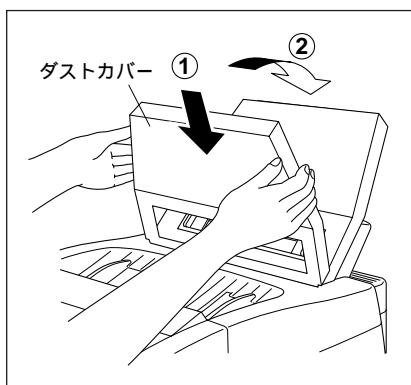
4 記録紙の幅に給紙ガイドを合わせます。給紙ガイドは図の矢印で示した部分をつまみながら動かします。

お願い

一度使用した記録紙の裏を再び記録紙として使用すると故障の原因となります。記録紙は常に未使用のものを使ってください。

メモ

給紙ガイドをきちんと合わせてください。合わせないと、記録紙が傾いて入り、記録紙づまりの原因となります。



5 ダストカバーを給紙カバーに取り付けます。

お願い

ドラムユニットに埃などが入ると故障の原因となりますので、ダストカバーは必ず取り付けてご使用ください。



6 給紙カバーを閉じます。

使用可能な用紙

本機では下記のサイズの記録紙が使用できますが、受信したファクスはA4サイズでのみプリントできます。

種類	サイズ
普通紙	A4、レター、リーガル、B5、A5 (70-216mm × 127-356mm)
封筒	洋形4号、洋形定型最大
はがき	100×148mm
ラベル・OHP用紙	70-216mm × 127-356mm

セットできる用紙枚数

マルチパーパスシートフィーダー：高さ22mm(給紙ガイドのマークまで)

A4(75g/m²紙)約200枚

A4(158g/m²紙)約50枚

封筒10枚

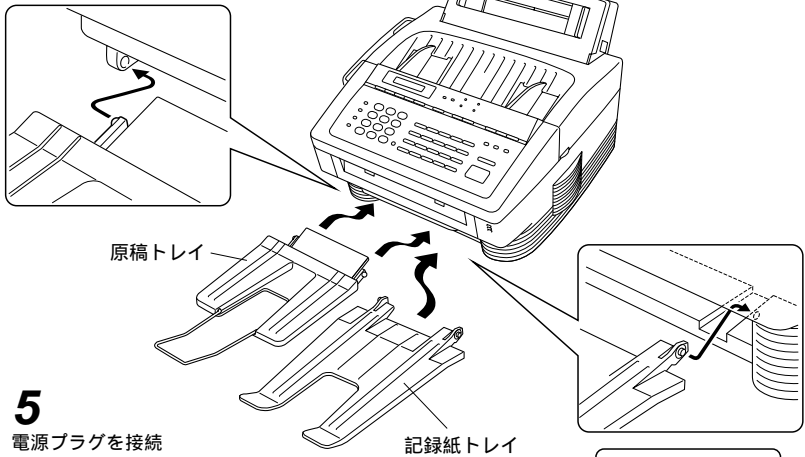
官製はがき約30枚

OHP用紙約50枚

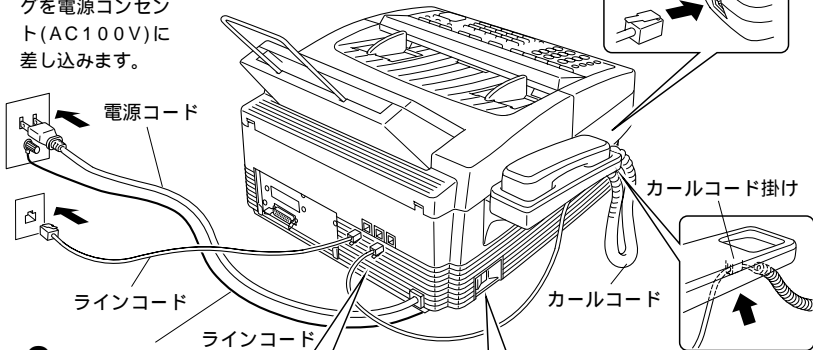
	普通紙	封筒
坪量	64 ~ 158g/m ²	75 ~ 90g/m ²
厚さ	0.08 ~ 0.2mm	0.084 ~ 0.14mm

ファクシミリを接続する

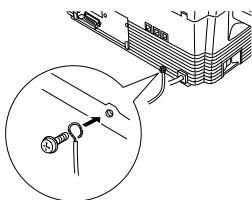
- 1** 記録紙トレイと原稿トレイを取り付けます。
図のように本体の穴に合わせて差し込みセット
します。



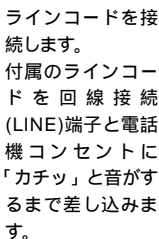
- 5** 電源プラグを接続
します。
電源コードのプラ
グを電源コンセント
(AC100V)に
差し込みます。



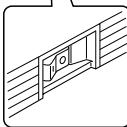
- 3** アース線を接続し
ます。
付属のアース線で、本
体裏のアース端子と電
源コンセントのアース
端子を接続します。



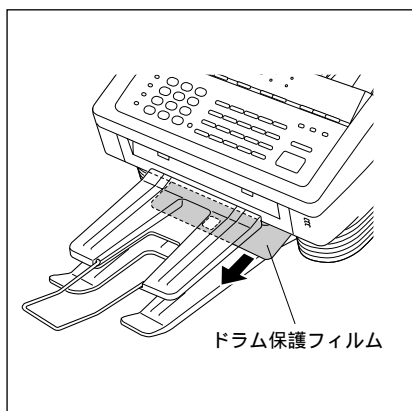
- 4** カールコード
ラインコードを接
続します。
付属のラインコー
ドを回線接続
(LINE)端子と電話
機コンセントに
「カチッ」と音がす
るまで差し込みま
す。



- 2** 受話器を取り付け
ます。付属のカー
ルコードを、本体
の受話器接続端子
と受話器の接続端
子に「カチッ」と
音がするまで差し
込み、受話器を受
話器受けに置きま
す。カールコード
掛けにカールコー
ドを掛けます。
- 6** 電源スイッチを
「ON」にします。
電源が入ると、ディ
スプレイに「'99
01/01 00:00」と
表示されます。



ファクシミリを接続するつぎ

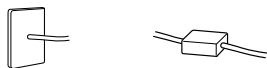


新しいドラムユニットを取り付けた後、はじめて電源を入れるときは、ドラム保護フィルムがきちんと排出されたか、確認してください。

メモ

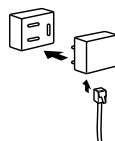
電話機コンセントのタイプについて

直接配線の場合（ローゼット／プレート）
最寄りのNTT支店・営業所へご相談ください。
（局番なしの116番）



3ピンプラグ式コンセントの場合

市販のモジュラー付の電話キャップをお買い求めください。



アース線について

万一漏電した場合の感電防止や外部から電圧(雷など)がかかったときファクシミリを守るため、アース線を取り付けてください。

お願い

置き場所について

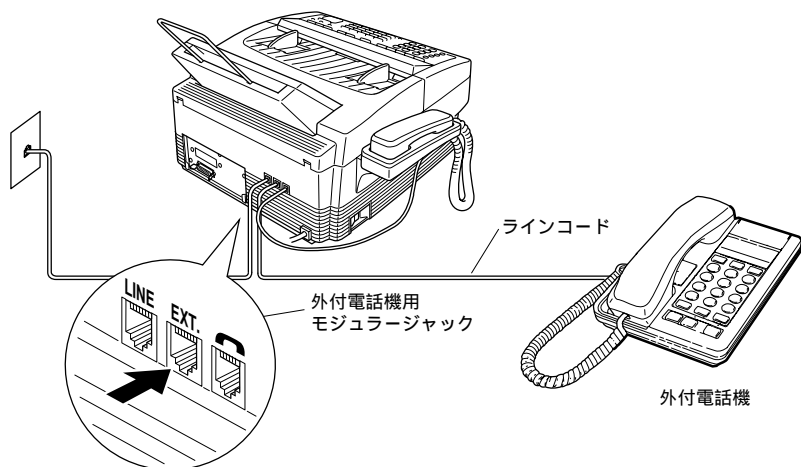
磁気を帯びている場所には設置しないでください。（ラジオ、テレビ、こたつなど）雑音や受信障害の原因となります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的していますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

外付電話機の接続をする

外付電話機のラインコードを本体裏側の外付電話(EXT.)端子に接続します。外付電話機は1台まで接続できます。

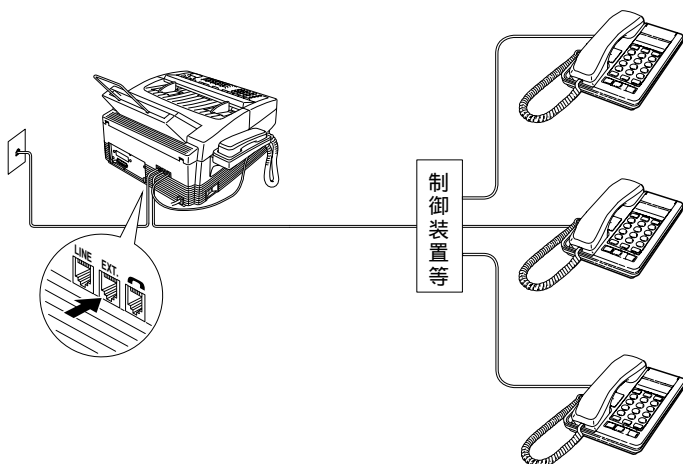


お願い

お使いの電話回線に、すでに何台かの電話機が接続されている場合(親子電話・ホームテレホン・ビジネスホンなど)は、本機あるいは外付電話機がご使用になれない場合があります。この場合配線工事が必要で、工事には「電話工事担任者」の資格が必要となりますので、親子電話・ホームテレホン・ビジネスホンの取付工事を行った販売店が、最寄りのNTT窓口(116番)にご相談ください。

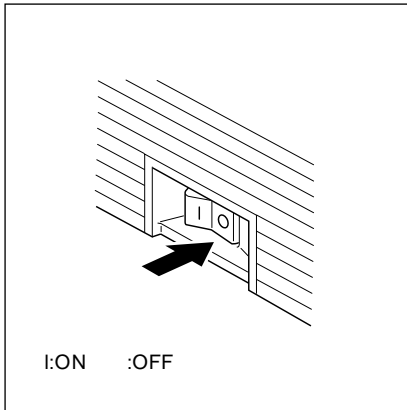
参考

親子電話、ホームテレホン、ドアホン、ビジネスホンの接続の例

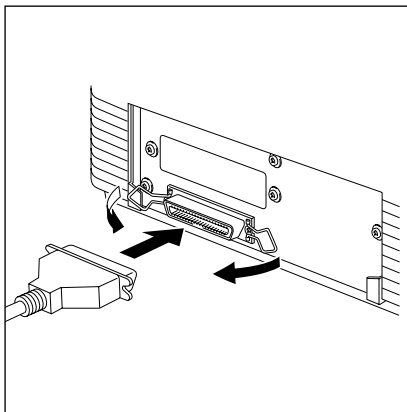


コンピュータと接続する

本機とコンピュータを接続するときは、必ず付属のプリンタケーブルを使用してください。



- 1 プリンタケーブルを接続する前に、本機とコンピュータの両方の電源を切ってください。



- 2 プリンタケーブルの接続を本機の平行インターフェイスポートに差し込みます()。ポートの両側に付いているワイヤクリップを起し、ケーブルを固定します()。

- 3 ケーブルのもう一方の接続をコンピュータのプリンタポートに差し込みます。

2章

ご使用の前の設定と登録

お使いの電話回線に合わせる [回線種別設定]	12
ご利用中の電話回線の調べかた	12
回線種別の設定のしかた	13
日付と時計を合わせる [時計セット]	15
名前と電話番号を登録する [発信元登録]	17
ブザー音量を変える [ブザー音量]	20
ワンタッチダイヤルを登録する [ワンタッチダイヤル] ..	21
登録のしかた	21
変更のしかた	24
短縮ダイヤルを登録する [短縮ダイヤル]	27
登録のしかた	27
変更のしかた	29
グループダイヤルを登録する [グループダイヤル]	32
登録のしかた	32
変更のしかた	35
呼出音量の大きさを調整する	37
マルチファンクションリンクのインストール	38
Windows®95	38
Windows®3.1	39
テストプリントをする	41

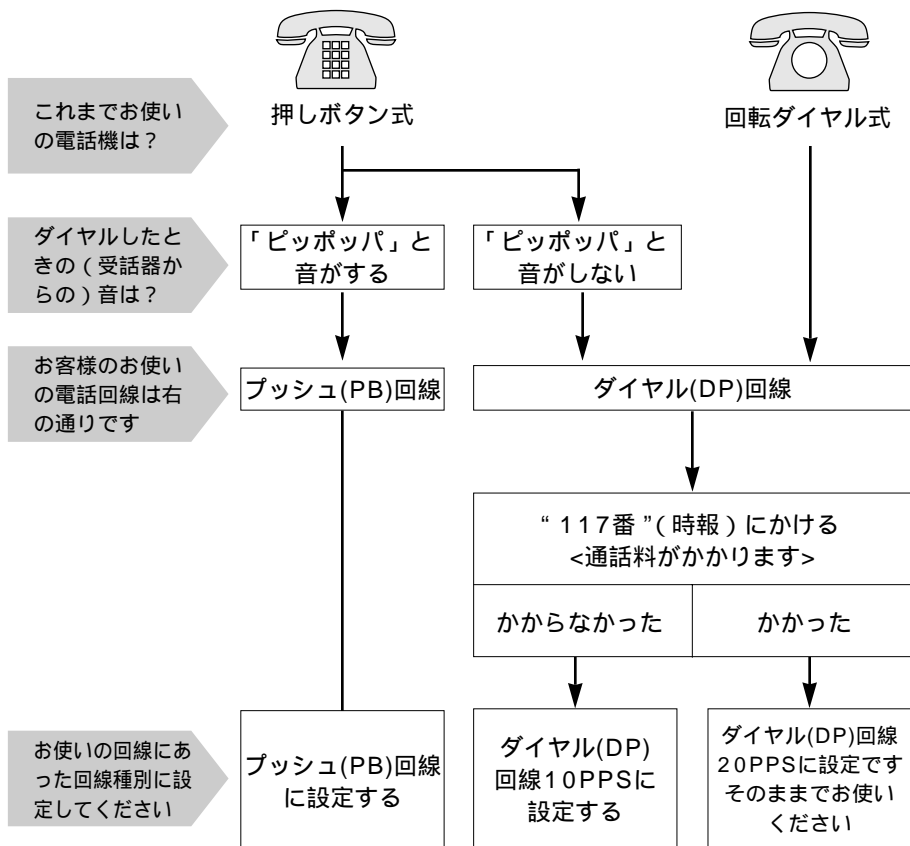
お使いの電話回線に合わせる [回線種別設定]

電話回線にはプッシュ(PBまたはトーン)回線とダイヤル(DPまたはパルス)回線があります。

現在ご利用中の電話回線の種類に合わせて設定します。

ご利用中の電話回線の調べかた

回線の種類は、次の手順で調べることができます。もし、わからないときは、最寄りのNTTの支店・営業所またはNTT窓口(☎116：無料)にお問い合わせください。



お買い上げ時はダイヤル(DP)回線の「20PPS」に設定されています。

回線種別の設定のしかた

ご利用中の電話回線に合わせて設定します。

回線の種類がわからないときは、前ページの<ご利用中の電話回線の調べかた>を参照して、回線の種類を調べてください。

1

機能 ボタンを押します。



1. ソウシン セッテイ

2

ダイヤルボタン **6** **1** を押します。



1. カイセンシュハツ セッテイ

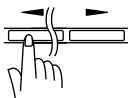
カイセンシュハツ: 20PPS

ヤシールシホタンテ センタク

3

◀ / **▶** ボタンを押して、ご利用の回線の種別に合わせます。

【例】プッシュ回線に設定するとき



カイセンシュハツ: PB

- ・ダイヤル回線の10PPSのとき……10PPS
- ・ダイヤル回線の20PPSのとき……20PPS
- ・プッシュ回線のとき……PB

4

セット ボタンを押します。

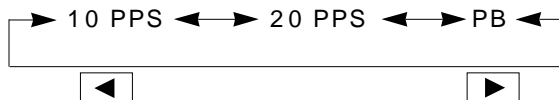


5

停止 ボタンを押します。設定が終了します。
設定が終了します。



メモ 回線の種類を選ぶときのディスプレイ表示は ◀ / ▶ ボタンで下記のように変わります。



お願い

設定を間違えると、電話は受けられますが、電話がかからなかったり、違った相手にかかることがありますのでご注意ください。

日付と時刻を合わせる [時計セット]

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻はディスプレイに表示されるとともに、ファクスを送信したとき、相手側の記録紙にあなたの電話番号と名前(発信元登録：17ページ参照)といっしょに印字されます。

1

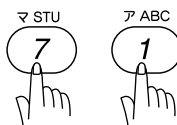
機能 ボタンを押します。



1. ソウシン セッテイ

2

ダイヤルボタン **7** **1** を押します。



1. トケイ セット

ネ: XX

年の入力を促す表示になります。

3

年月日、時刻をダイヤルボタンで入力します。

【例】1998年1月15日 午後3時25分に合わせるとき



ネ: 98

西暦の下2桁で入力します。

ツキ: XX

月の入力を促す表示になります。

ツキ: 01

月は2桁の数字で入力します。

ヒツケ: XX

日の入力を促す表示になります。

ヒツケ: 15

日は2桁の数字で入力します。

シコク: XX:XX

時刻を入力を促す表示になります。

シコク: 15:25

時刻は24時間制で入力します。

4 **セット** ボタンを押します。

5 **停止** ボタンを押します。

現在の日付と時刻がディスプレイに表示され、登録が終了します。



メモ

ディスプレイは下記のように年と時刻を表示します。

'98 01/15 15:25
1998年1月15日 午後3時25分

数字を入れ間違えたときは、**クリア** ボタンを押して入力し直します。

お願い

お買い上げ時は「'99 01/01 00:00」にセットされており、電源スイッチを入れるとお買い上げ時の時刻から時計が進みます。現在の日付、時刻に合わせてください。また、長時間電源を切ったままにしたとき、お買い上げ時の日付と時刻に戻りますので、もう一度現在の日付と時刻を合わせてください。

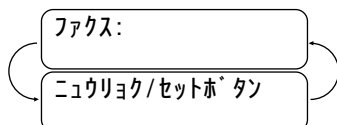
時刻はあくまで目安ですので、気になるときは、1ヶ月おきに合わせてください。

名前と電話番号を登録する [発信元登録]

ファクスを送信したとき、あなたの名前と電話番号が相手側の記録紙に印字されます。

1

機能 ボタンを押し、ダイヤルボタン **7** **4** を押します。



ファクス番号の入力を促す表示になります。


2

ダイヤルボタンでファクス番号を入力します。

【例】(052)811-5 1のとき

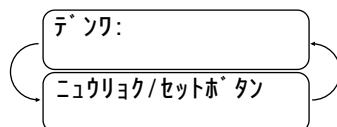


ファクス: 0528115 1_

最大20桁まで入力できます。
ハイフンやカッコ、*の入力はできません。
スペースを入力する場合は、 ボタンを使います。

3

セット ボタンを押します。



電話番号の入力を促す表示になります。

4

ダイヤルボタンで電話番号を入力します。

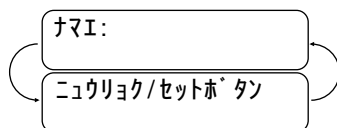
【例】(052)824- 55のとき



デ'ンリ: 052824 55

最大20桁まで入力できます。
ファクス番号と電話番号とが同じ場合には、再度同じ番号を入力します。

5 セット ボタンを押します。



名前の入力を促す表示になります。

6 ダイヤルボタンで名前を入力します。

【例】スズキ ケイコという名前のとき
(文字入力のしかたは取扱説明書<操作編>
94～96ページを参照してください)

タマエ: スズキ ケイコ

最大20文字まで入力できます。

7 セット ボタンを押します。

8 停止 ボタンを押します。

登録が終了します。



メモ

ファクス番号・電話番号は20桁まで登録できます。ファクス番号・電話番号には数字しか入力できません。

名前は20文字まで登録できます。

文字入力のしかたは取扱説明書<操作編>94～96ページを参照してください。

入力した名前や番号を消すときは、手順2、4、6でそれぞれカーソルを番号や名前の一番はじめまで移動させ[クリア]ボタンを押すと、あらかじめ入力してあった名前や番号を消すことができます。

数字を入れ間違えたときは、[左] / [右] ボタンを押して修正する文字までカーソルを移動し、正しい文字を上から入力し直します(上書き)。挿入はできませんので、途中の数字を入力し忘れたときは、間違えた箇所までカーソルを移動し、それ以降の数字も入力し直してください。

発信元データ(ファクス番号、電話番号、名前)をすべて登録しないと、送付書(取扱説明書<操作編>32ページ参照)、伝言メッセージ(取扱説明書<操作編>40ページ参照)を送信することはできません。

発信元登録の消去のしかた

1 **機能** ボタンを押し、ダイヤルボタン **7** **4** を押します。

ヘンコウ 1.スル 2.シナイ

2 ダイヤルボタン **1** を押して、ヘンコウ「1.スル」を選びます。

3 **クリア** ボタンを押して、登録内容を消去します。

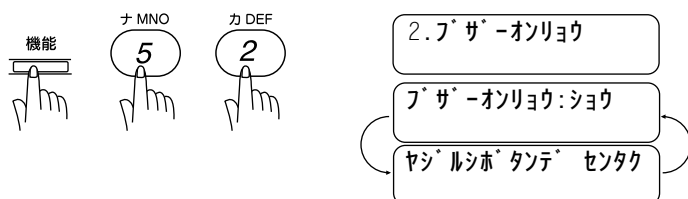
4 **セット** ボタンを押します。

ブザー音量を変える [ブザー音量]

間違った操作をしたときや、紙づまりなどファクシミリに異常が起きたとき、またファクス送受信終了後や、ボタンを押したときにブザーが鳴ります。そのときの音量を調整します。

1

機能 ボタンを押し、ダイヤルボタン **5** **2** を押します。



2

◀ / ▶ ボタンで音量を選びます。

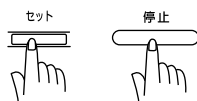
【例】「ダイ」に設定するとき



3

セット ボタンを押し、次に **停止** ボタンを押します。

設定が終了します。



メモ

ブザー音量は、3種類の内から選びます。

OFF……ブザー音なし

(エラーのときは「OFF」にしても鳴ります)

ショウ……ブザー音小さい

ダイ……ブザー音大きい

お買い上げ時は、「ショウ」になっています。

ワンタッチダイヤルを登録する [ワンタッチダイヤル]

20桁までの電話番号と15文字までの相手先名称を、ワンタッチダイヤルの [01] ~ [24] の24箇所に登録することができます。

登録のしかた

お願い

電話番号を間違えて登録しますと、自動再ダイヤル機能により、間違った相手を何度も呼び出すことになり、大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。新しく電話番号を登録した後、ダイヤルリスト(取扱説明書<操作編>120ページ参照)をプリントして確認してください。

1

機能 ボタンを押し、ダイヤルボタン [4] [1] を押します。



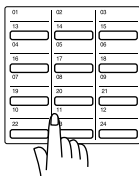
1. ワンタッチ ダイヤル

ワンタッチホ タン シティ

2

登録するワンタッチボタンを押します。

【例】ワンタッチボタン [01] を押したとき



#01:

キュウリヨク/セットホ タン

すでに登録されているときは、名前または電話番号が表示されます。ワンタッチボタン [13] ~ [24] を指定したいときは、[シフト] ボタンを押したままワンタッチボタンを押します。

3

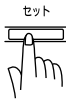
ダイヤルボタンで電話番号を入力します。



#01:0528115 1_

電話番号は20桁まで入力できます。スペースを入力するには [] ボタンを、ハイフンを入力するには [-] ボタンを押します。再ダイヤル/ポーズ ボタンを押します。カッコは登録できません。

4 セット ボタンを押します。



ナマエ:

ニューヨーク/セットホ^{*}タン

相手先の名前入力を促す表示となります。

5 相手先の名前を入力します。

ナマエ: タナカヨウコ

文字入力のしかたは取扱説明書<操作編>94～96ページを参照。
最大15文字まで入力できます。

6 セット ボタンを押します。



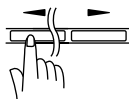
シユベ^{*}ツ: ファクス

ヤシ^{*}ルシホ^{*}タンテ^{*} センタク

番号の種別の選択を促す表示になります。

7 ◀ / ▶ ボタンを押して、番号の種別を選びます。

【例】ファクスに設定するとき



シユベ^{*}ツ: ファクス

8 セット ボタンを押します。



ワソタッチホ^{*}タン シテイ

続けて登録するときは手順2からを繰り返します。

9

停止 ボタンを押します。

登録が終了します。



メモ

番号の種類

ワンタッチダイヤルに電話番号を登録するとき、その番号がどういった種類の番号が登録することができます。登録された内容は電話帳リスト(取扱説明書<操作編>122ページを参照)に印字され、種別が一目でわかって便利です。下記の4種類から選択できます。



- | | |
|--------|----------------------|
| 1.ファクス | 3.F/T |
| 2.デンワ | 4.レンゾク(連続ダイヤルのための番号) |

連続ダイヤルとは

長距離電話会社ごとに決められたアクセス番号と電話番号を組み合わせて使うときなどに、アクセス番号をワンタッチダイヤルに登録して使うと便利です。

ここで登録した内容は送付書に記述されますので、他人に知らせたくない場合は送付書を付せずに送信してください。

文字の入力のしかたは、取扱説明書<操作編>94～96ページを参照してください。

数字を入れ間違えたときは、 /  ボタンを押して修正する文字までカーソルを移動し、正しい数字を上から入力します(上書き)。挿入はできませんので、途中の数字を入力し忘れたときは間違えた箇所までカーソルを移動し、それ以降の数字も入力し直してください。

メモ

ワンタッチダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を登録するとき

ダイヤル回線をお使いの場合は必ず最初に **トーン#** ボタンを押してください。

番号の種類はレンゾク(連続)以外にしてください。

メモ

入力した名前や番号を消すときは、手順3、5でそれぞれカーソルを番号や名前の一番はじめまで移動させ **クリア** ボタンを押すと、あらかじめ入力してあった番号や名前を消すことができます。

登録した名前や番号を書き換えるときは、ワンタッチダイヤルの **変更のしかた** (24ページ)を参照してください。

変更のしかた

1

機能 ボタンを押し、ダイヤルボタン **4** **1** を押します。



1. ワンタッチダイヤル

ワンタッチボタンシテイ

2

変更するワンタッチボタンを押します。

【例】ワンタッチボタン[01]を変更するとき

#01:タナカヨウコ

ハンコウ 1.スル 2.シナイ

登録されている内容が表示されます。

3

ダイヤルボタン **1** を押し、「1.スル」を選びます。



#01:0528115 1

ニューヨーク/セットボタン

登録されている電話番号が表示され
ます。消去するときは **クリア** ボタンを
押します。

電話番号を変更しないときは、そのま
ま手順5に進みます。

4

ダイヤルボタンで電話番号を変更します。

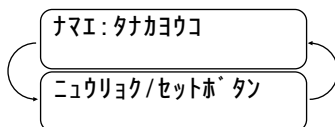
【例】(052)825- 11に変更するとき



#01:052825 11_

5

セット ボタンを押します。



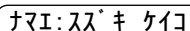
登録されている名前が表示されます。
消去するときは **クリア** ボタンを押します。

名前を変更しないときは、そのまま手順7に進みます。

6

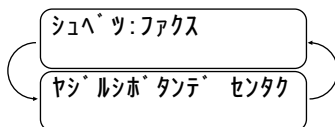
相手先の名前を変更します。

【例】スズキケイコに変更するとき



7

セット ボタンを押します。



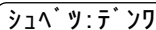
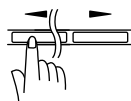
登録されている番号の種別が表示されます。

番号種別を変更しないときは、そのまま手順9に進みます。

8

◀ / ▶ ボタンで番号の種別を変更します。

【例】「デンワ」に変更するとき



9

セット ボタンを押します。

続けて変更するときは、手順2からを繰り返します。

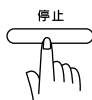


ワンタッチホ[®] タン シテイ

10

停止 ボタンを押します。

変更が終了します。



短縮ダイヤルを登録する [短縮ダイヤル]

20桁までの電話番号と15文字までの相手先名称を、ワンタッチダイヤルとは別に2桁の短縮番号00～99の100箇所に登録することができます。

登録のしかた

お願い

電話番号を間違えて登録しますと、自動再ダイヤル機能により、間違えた相手を何度も呼び出すことになり、大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。新しく電話番号を登録した後、ダイヤルリスト(取扱説明書<操作編>120ページ参照)をプリントして確認してください。

1

機能 ボタンを押し、ダイヤルボタン **4** **2** を押します。



タシユクタ イヤル? *_

2

登録する短縮番号をダイヤルボタンで入力します。

【例】短縮ダイヤル01に登録するとき(ダイヤルボタン**0**と**1**を押します)



*01:

ニュウリョク/セットボ タン

すでに登録されているときは、電話番号が表示されます。

3

ダイヤルボタンで電話番号を入力します。

【例】(052)811-5 1のとき



*01:0528115 1_

電話番号は20桁まで入力できます。

カッコは登録できません。

スペースを入力するには **☐** ボタン、ハ

イフンを入力するには **☐** ボタンを押します。

4

セット ボタンを押します。



ナマエ:

相手先の名前入力を促す表示となります。

5 ダイヤルボタンで相手先の名前を入力します。

【例】タナカヨウコと入力したとき

ナメ: タナカヨウコ

文字入力のしかたは取扱説明書<操作編>94～96ページを参照してください。
最大15文字まで入力します。

6 セット ボタンを押します。



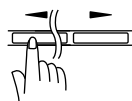
シユハ^{*} ツ: ファクス

ヤジ^{*} ルシホ^{*} タンテ^{*} センタク

番号種別の選択を促す表示になります。

7 ◀ / ▶ ボタンを押して、番号の種別を選びます。

【例】ファクスに設定するとき



シユハ^{*} ツ: ファクス

8 セット ボタンを押します。



タンシュクダ^{*} イヤル? * _

9 停止 ボタンを押します。

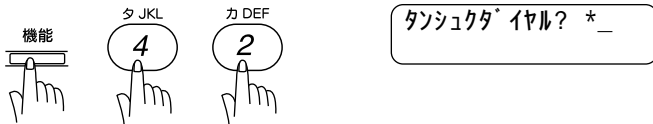
登録が終了します。



変更のしかた

1

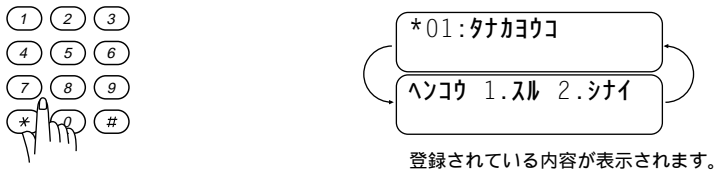
機能 ボタンを押し、ダイヤルボタン **4** **2** を押します。



2

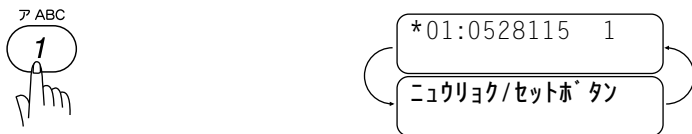
変更する短縮番号のダイヤルボタンで入力します。

【例】短縮ダイヤル01を変更するとき（ダイヤルボタン **0** と **1** を押します）



3

ダイヤルボタン **1** を押して、「1.スル」を選びます。



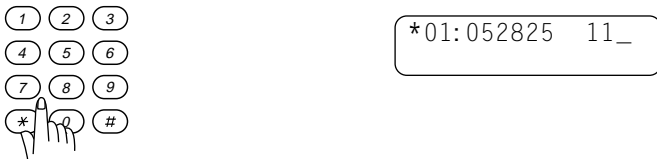
登録されている電話番号が表示され
ます。消去するときは **クリア** ボタンを
押します。

電話番号を変更しないときは、そのま
ま手順5に進みます。

4

ダイヤルボタンで電話番号を変更します。

【例】(052)825- 11に変更するとき



5

セット ボタンを押します。



ナマエ: タナカヨウコ

ニューリョク/セットボ*タン

登録されている名前が表示されます。
消去するときは **クリア** ボタンを押します。
名前を変更しないときは、そのまま手順7に進みます。

6

相手先の名前を変更します。

【例】スズキケイコに変更するとき

ナマエ: スズキ ケイコ

7

セット ボタンを押します。



シユハ*ツ: ファクス

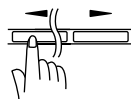
ヤシ*ルシボ*タンテ* センタク

登録されている番号の種別が表示されます。
番号種別を変更しないときは、そのまま手順9に進みます。

8

◀ / ▶ ボタンで番号の種別を変更します。

【例】「デンワ」に変更するとき



シユハ*ツ: テ*ンワ

9

セット ボタンを押します。

続けて変更するときは、手順2からを繰り返します。

タンシユクタ* イヤル? *_

10

停止 ボタンを押します。

変更が終了します。



グループダイヤルを登録する [グループダイヤル]

登録されているワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルを組み合わせ、1グループとしてワンタッチボタン 01 ~ 24 に登録し、グループダイヤルとして使うことができます。

1つのグループダイヤルには、最大123箇所まで登録でき、15文字までの名前が登録できます。グループダイヤルは6グループまで作ることができます。順次同報送信(取扱説明書<操作編>の24ページ参照)のときに、グループダイヤルを使用すると、複数の送信先を一度に指定することができます。

登録のしかた

1

機能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 4 3 を押します。



3. グループダイヤル

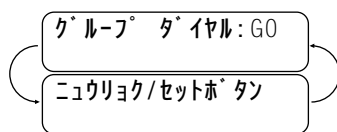
ワンタッチボタン シティ

ワンタッチボタンの指定を促す表示になります。

2

登録するワンタッチボタンを押します。

【例】ワンタッチボタン01に登録するとき

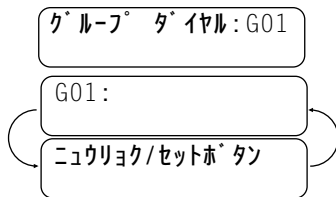


すでに登録されているときは、登録されている内容が表示されます。違うワンタッチボタンを選んでください。

3

ダイヤルボタンでグループ番号を入力します。

【例】グループ01に設定するとき(ダイヤルボタン①を押します)



登録する番号の入力を促す入力画面になります。

すでに登録しているグループ番号を入力したときは「リリョクガイ」と表示されます。未登録のグループ番号を選んでください。

4

ダイヤルボタンで、登録するワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルを入力します。

【例】ワンタッチダイヤル[02](#02)、短縮ダイヤル05(*05)と06(*06)を登録するとき

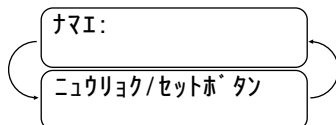


G01:#02*03*05

ワンタッチダイヤルは、登録するワンタッチボタンを、短縮ダイヤルは、短縮ボタンを押した後に2桁の番号を入力します。

5

セット ボタンを押します。



グループ名の入力を促す表示となります。

6 ダイヤルボタンでグループ名を入力します。

【例】「テニスナカマ」というグループ名のとき



ナマI:テニスナカマ

グループ名は15文字まで登録できます。
文字入力のしかたは取扱説明書<操作編>94～96ページを参照してください。

7 セット ボタンを押します。



8 停止 ボタンを押します。

登録が終了します。



メモ

すでにグループダイヤルが登録されているワンタッチボタンに登録するときは、24ページの<変更のしかた>を参照してください。

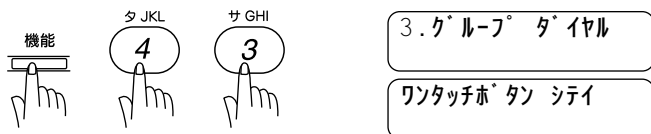
グループダイヤルとして使用されているワンタッチボタンは、グループダイヤルの中に登録することができません。ご使用になりたいときは、グループダイヤルの設定を削除してください。(手順3、4の場合ワンタッチボタン[01]がグループダイヤルとするとその中に登録できるワンタッチダイヤルは[02]～[24]です)

ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルが登録されていないときは、グループダイヤルの登録はできません。

変更のしかた

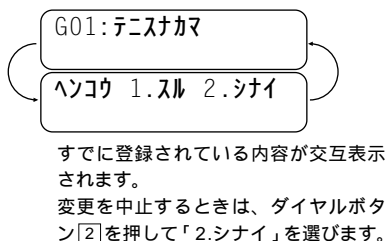
1

機能 ボタンを押し、ダイヤルボタン **4** **3** を押します。



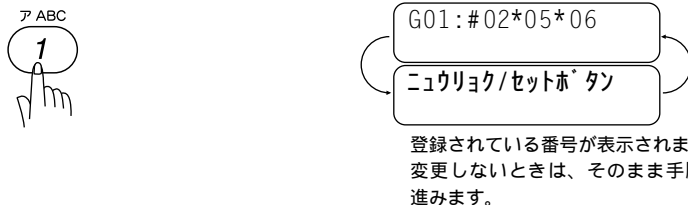
2

変更するグループダイヤルが登録されているワンタッチボタンを押します。



3

ダイヤルボタン **1** を押して、「1.スル」を選びます。

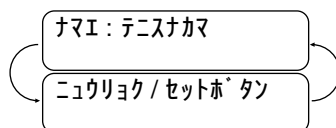


4

ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルを変更します。

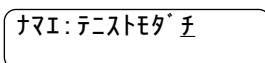


5 セット ボタンを押します。



登録されているグループ名が表示されます。
グループ名の変更をしないときは、そのまま手順7に進みます。

6 ダイヤルボタンでグループ名を変更します。



文字入力のかたは取扱説明書<操作編>94～96ページを参照してください。

7 セット ボタンを押します。



8 停止 ボタンを押します。 登録が終了します。



メモ

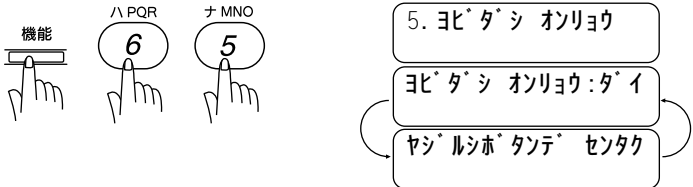
1つのワンタッチボタンには、ワンタッチダイヤル(21ページ参照)かグループダイヤルのどちらか一方しか登録できません。

呼出音量の大きさを調整する

電話がかかってきたときの呼出音の大きさを設定します。

1

機能 ボタンを押し、ダイヤルボタン **6** **5** を押します。



2

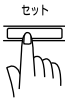
◀ / **▶** ボタンで呼出音量を選びます。

【例】「ショウ」に設定するとき



3

セット ボタンを押します。



4

停止 ボタンを押します。

設定が終了します。



メモ

呼出音量は、3種類の内から選びます。

OFF……呼出音なし

ショウ……呼出音小さい

ダイ……呼出音大きい

お買い上げ時は、「ダイ」になっています。

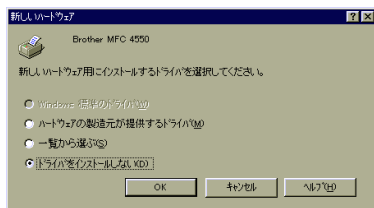
マルチファンクションリンクのインストール

対応パソコンはDOS/V機です。PC98シリーズには対応していません。OSによりセットアップ方法が異なりますので、お使いのOSの項目をお読みください。

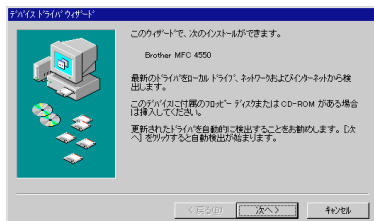
Windows®95

マルチファンクションリンクをインストールし、本機をWindows®95上から操作できるようにします。

- 1 本機とコンピュータがきちんと接続されていることを確認します。
- 2 本機の電源を入れます。
- 3 コンピュータの電源を入れ、Windows®95を起動します。「新しいハードウェア」画面が表示されます。上から4番目の「ドライバをインストールしない」を選び、<OK>ボタンをクリックします。



Windows®95のバージョンによっては、上の画面の代わりに「デバイスドライバウィザード」画面が表示されます。<次へ>をクリックします。



「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした」の説明の画面が出ます。ここで<完了>をクリックしてください。

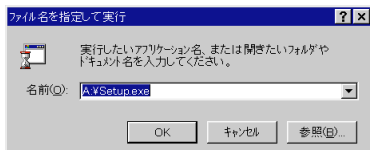


「新しいハードウェア」または「デバイスドライバウィザード」の画面が表示されない場合は、そのままインストールを進めてください。

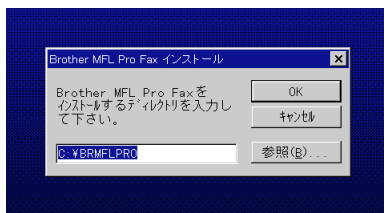
4 <スタート>ボタンをクリックし、スタートメニューから[ファイル名を指定して実行]を選択します。

5 フロッピーディスクドライブ(Aドライブ)*に付属のDisk-1を挿入します。

6 [ファイル名を指定して実行]画面のテキストボックスに「A:¥SETUP」と入力し、<OK>ボタンをクリックするか、[Enter]または[Return]キーを押します。



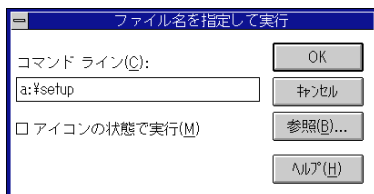
7 インストール画面が表示されますので、画面表示に従ってインストールを完了します。



Windows®3.1

マルチファンクションリンクをインストールし、本機をWindows®3.1上から操作できるようにします。

- 1 本機とコンピュータがきちんと接続されていることを確認します。
- 2 本機の電源を入れます。
- 3 コンピュータの電源を入れ、Windows®3.1を起動します。
- 4 フロッピーディスクドライブ(Aドライブ)にDisk-1を挿入します。
- 5 プログラムマネージャーの[ファイル]メニューから、[ファイル名を指定して実行]を選択します。
- 6 [ファイル名を指定して実行]画面のテキストボックスに「A:SETUP」(フロッピーディスクドライブがAドライブの場合)と入力し、<OK>ボタンをクリックするか、[Enter]または[Return]キーを押します。



- 7 インストール画面が表示されますので、画面表示に従ってインストールを完了します。

メモ

インストーラーは自動的にSYSTEM.INI[386Enh]の下に[DEVICE=bi-di.386]と書き込み、SYSTEM.INIファイルを書き換えます。以前に双方向パラレル通信機器をインストールしたことがある場合、新しくインストールしたドライバによって、それらが使用されなくなります。以前にインストールしたドライバを使用したい場合、もう一度そのドライバをインストールする必要があります。その場合本機が使用できなくなります。インストーラーは、インストールしたプリンタドライバを通常使用するプリンタとして設定します。

インストールの際、SYSTEM.INIファイルが書き換えられます。Windows®を再起動すると、書き換えられたファイルと、インストールされたドライバが有効になります。コンピュータによってはフロッピーディスクを入れるドライブがAドライブではない場合があります。

テストプリントをする

本機の印字機能が正常かどうかを確認するためにテストサンプルページをプリントします。

- 1 ディスプレイにオフラインと表示されているか確認します。表示されていないときは、**オン/オフライン** ボタンを押します。



'98 01/15 15:25
オンライン

- 2 **テスト/リセット** ボタンを押します。
テストサンプルページのプリントを開始します。



'98 01/15 15:25
テスト プリント

索引

あ

アース線 7

か

カールコード 7
カールコード掛け 7
回線種別設定 12
回線種別の設定のしかた 13
給紙ガイド 5
記録紙スタッカ 4
記録紙トレイ 7
記録紙をセットする 4
グループダイヤル 32
グループダイヤルの登録 32
グループダイヤルの変更 35
原稿トレイ 7
コンピュータと接続する 10

さ

時刻の登録 15
時刻の変更 16
受話器 7
接続
アース線 7
カールコード 7
電源コード 7
ラインコード 7
外付電話機の接続 9

た

ダイヤル (DP) 回線 12
ダストカバー 5
短縮ダイヤル 27
短縮ダイヤルの登録 27
短縮ダイヤルの変更 29
テストプリントをする 41
電源コード 7
電話回線の調べかた 12
電話機コンセントのタイプについて 8
時計セット 15
ドラムユニット 2
ドラムユニットの取り付け 2、3
ドラム保護用紙 2
取り付け
記録紙トレイ 7
原稿トレイ 7

は

発信元データの登録 17
発信元データの変更 18
発信元登録 17
発信元登録の消去のしかた 19
日付の登録 15
日付の変更 16
ファクシミリを接続する 7
ブザー音量の設定 20
プッシュ (PB) 回線 12
プリンターケーブル 10

ま

マルチファンクションリンクのインストール 38
Windows®95 38
Windows®3.1 39

や

呼出音量の設定 37

ら

ラインコード 7

わ

ワンタッチダイヤル 21
ワンタッチダイヤルの登録 21
ワンタッチダイヤルの変更 24

アフターサービスのご案内

この度は本製品をお買い上げいただきまして誠に有難うございます。
ご愛用いただきます製品が、安心してご使用いただけますよう下記窓口を設定を設置しております。

ご不明な点、もしくはお問い合わせなどございましたら下記までご連絡ください。その際、ディスプレイにどのような表示が出ているか、機種名、シリアルNo.などをおたずねいたしますので、あらかじめご確認いただけますと助かります。

【消耗部品のお問い合わせ窓口】

ブラザー販売（株）情報機器事業部

〒467-8577 名古屋市瑞穂区苗代町15-1

TEL:(052)824-3410

FAX:(052)825-0331

- ・消耗品については、お買い上げの販売店にてお買い求めください。万一販売店に在庫などがなくお買い求めできない場合は、弊社にて対応させていただきます。
- ・なお、ご注文の際は、前ページの部品注文書にてFAXでご注文願います。



お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
消耗品についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店または(052)824-3410
へご相談ください。
もし、販売店等でおわかりにならないときは、下記のブラザー販売株の営業部にお
たずねください。

—【お客様相談窓口】—

東 京：〒104-8790

東京都中央区京橋3-3-8

TEL (03)3274-6911

大 阪：〒550-0012

大阪市西区立売堀4-4-2

TEL (06)543-9120

名古屋：〒467-0851

名古屋市瑞穂区塩入町11-5

TEL (052)824-3196

福 岡：〒812-0011

福岡市博多区博多駅前2-3-12

ブラザー博多駅前ビル2F

TEL (092)481-1560